

(令和元年 11 月試験研究業務月報)

試験研究課題：系統育成及び身入り基準策定によるトリガイの品質向上・担保技術の確立

研 究

「丹後とり貝」の変形原因を調査

近年、京のブランド産品「丹後とり貝」の生産過程で殻の歪^{いびつ}な個体（我々は「変形貝」と呼んでいます）が一定数出現することが問題になっています。トリガイは通常は殻付きで生きたまま取引されますが、変形貝は見た目が悪いことから「丹後とり貝」として売ることができず、生産ロスの一因となっています。

そこで、当センターでは、この問題を解決すべく、変形貝出現の原因究明に取り組んでいます。過去の研究で、トリガイの靱帯（写真参照）が損傷すると、その後成長するにしたいが高確率で変形することが判明しています。現在、靱帯損傷の原因を突き止めるべく、フィールド調査と飼育実験を実施中です。いずれも途中段階ではありますが、餌不足やトリガイの行動頻度の増加が靱帯損傷の一因らしい、ということが分かってきました。今後は、調査及び試験結果を解析するとともに、さらなる原因究明に努めます。

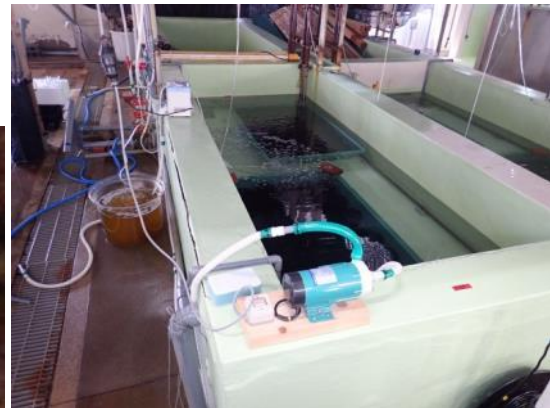


正常な靱帯



破断している

トリガイ靱帯（左：正常、右：損傷）



餌の量を変えて靱帯損傷の発生割合の変化を調べる飼育実験